

多忙な会議所の仕事の合間を縫って、前田専務や地元の人達と街を歩き、房総を走り回って流入人口の動向を探求する日が多くなっています。

アクアライン開通以来、夢に見た車の大群は押し寄せてくれませんが、間違いなく車の数が1.5倍以上は増加しており、ゴールデンウィークはいたるところで大渋滞を引き起こしておりました。

この車の群れをうまく滞留させ地元の経済効果へと結びつけることが、会議所の役目の一つですから、暇を見つけては彼方此方を見学いたしております。

最近一つの発見として、暖かくなったせいか、海・川・ダムなど水辺の駐車量が多くなっています。恐らくは、釣り・川遊び・サーフィンでありましょう。人は水から生まれ、体内に多くの水分を持つ生物の本能なのかも知れません。

君津市内の「亀山」「豊英」「三島」「片倉」ダムの駐車場は、どこも満車でした。そして新鮮な農産物を抱え込んでいく人が多いのには驚きました。

ところが君津市内で最も美しい(?) 景観を整えている…市民歌の中に…「白鳥遊ぶダムがある～」と歌われた“郡ダム”がまったく静かに眠っていることであります。

市街地に近い、この美しい“郡ダム”を他のダムと同じように活用して下さるよう提案申し上げたい。この“郡ダム”が活用されれば、周辺の土地区画整理事業へも良い影響をもたらすこととなり、立地条件もかなり変わってくるのではないかと考えられます。

人が集るから地価が上がり、人が去れば土地を必要としなくなる……といった論理もあるはずですが。要は、すばらしい景観を持つ“郡ダム”の活用を図るということです。

また、そうする事と共に、歴史に残る源頼朝の「三百騎坂」、北条氏・里見氏の大決戦の地となった三船山（正確には、三船山南面の水田地帯）も知っていただきたいものです。

特に今、若葉が水面に映えて美しい“郡ダム”へ友人・知人を誘って散策してみてください。何か新しい発見ができると思います。

ちなみに案内板を気をつけて見ますと、すでに自宅を改造され小さなレストラン（失礼!!）をはじめられた方も見受けられます。